

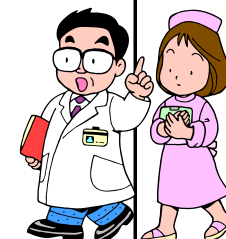





脳腫瘍(髄膜腫)摘出術を受ける患者さまへ 患者名 _____ 様

入院日 月 日() 時 分 総合案内にお越し下さい

	入院日 (手術前日)	手術当日	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3~5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日~退院日	退院後の生活について
日付	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)~	★傷について 入浴時は、頭皮を強くこすったりしないよう、傷をさけて洗ってください。ぶつかけたり、搔いて出血したり、赤くなっている場合は、消毒をして様子を見て下さい。改善しない場合は受診してください。
処置 検査	臨時で検査が入ることがあります。	手術着に着替え、手術室へ行きます。入室時間によっては、点滴をすることもあります。	手術後はそのままICUへ行きます。 	採血、頭部のCTがあります。状態に応じ、ICUから一般病棟へ移動します。	医師が回診時、創部の状態をみます。連日髪を洗います。	連日医師・看護師が回診します。連日髪を洗います。	傷の様子で半分糸を抜きます。	傷の様子で半分~全部ピンを抜きます。頭のCT検査があります。	頭部CT検査があります(日にちは未定です)。	
内服 点滴	中止薬()は、 / ~ / まで内服薬は中止のもの意外は、通常通り内服してください。 	麻酔科の指示で、早朝内服する場合があります。	一旦中止になります。	様子で内服を再開します。痛みが強い時は、痛み止めを使います。点滴は24時間行います。抗生剤の点滴と、けいれん止めの注射を行います。	点滴は24時間行います。抗生剤の点滴と、けいれん止めの注射を行います。本日で抗生剤の点滴は終了になります。	食事の様子で点滴が追加になることもあります。けいれん発作を予防するための薬を内服します。		中止にしていた薬についての説明があります。退院時に薬が処方されます。	中止にしていた薬についての説明があります。退院時に薬が処方されます。	★日常生活の制限 脳の手術後で事故を起こす危険もあり、車の運転は禁止ですが、退院後の定期受診時に医師の許可があれば可能となります。激しい運動は血圧を上昇させたり、けいれん発作を起こす原因となるため、避けてください。食事は塩分を控えてください。
安静 清潔	特に制限はありません。入浴も可能です。		ベッド上安静になります。	ベッド上安静になります。入浴できないので、看護師が体を拭きに行きます。		尿の管を抜きます。車椅子でトイレに行くことができます。体の様子で歩行もできます。	歩行、シャワー浴が可能になります。歩行時はゆっくり歩くようにしましょう。		入浴できます。	★けいれん発作時 けいれん予防の薬を内服していても、疲れが溜まったり、ストレスが強かったりすると、けいれん発作が起こる可能性があります。もし発作が起こったら、慌てずに救急車を呼びましょう。病院に着くとそのまま入院となります。
食事	食事が出ます。21時以降は、食事はしないでください。水分摂取(水やお茶)については麻酔科医師の指示に従ってください。	食事は朝食から出ません。	様子で食事が出ます。傷や痛みの程度で、食事の形態が変わることもあります。		いつも食べている食事に変わります。傷の痛みの程度で、食事の形態を変えることもできます。					
説明 書類	麻酔科の診察があります。ICUの看護師の説明があります。ICUに持参する荷物の整理をしてください。行動制限の承諾書について医師・看護師から説明があります。	家族の方は手術室に行くまでに起こして下さい。術後ICUへ移動になります。一般病棟の荷物は、ご家族の方に全部持ち帰っていただき、再度一般病棟に戻るとき持参していただきます。お手数ですがよろしくお願いします。	病棟看護師から安静についての説明があります。わからないことがあれば、医師・看護師に何でも聞いてください。痛みが強いときは、無理をしないで鎮痛剤を使うようにしてください。		新しい薬について、薬剤師・看護師から説明があります。				退院後の生活についての説明があります。次回の外来予約が入ります。保険用書類については、退院後に外来受付横にある、書類専用窓口へ提出してください。	★通院・内服 けいれん予防の薬は、飲み忘れることで発作が容易にできます。継続して内服することが大切です。他の薬も自己中断せず、何かあれば医師と相談してください。